

「継ぐ」 極意

内橋 由利香さん

IoTという言葉がなかった時代から、モノがインターネットに繋がることで現場の業務を効率化する先進的なシステムの開発を受託中心に行ってきた株式会社ワイズ・ラブ。今年、設立25周年を迎えました。

「長くシステム開発に携わってきた経験値の高さから、提案の幅が広いことが強み」と語る内橋義人社長ですが、インターネットが隔々まで浸透しIoTも普及期を迎えた中で、従来の受託開発中心のモデルでは立ち行かなくなることになり危機感を持ったそうです。

そのタイミングで飛び込んできたのが、東京のモバイル系IT企業でサービス企画に携わっていた由利香さんが関西に帰ってくるという話でした。「助けてくれ」と言われたんです」と由利香さん。それまで事業承継など全く頭になかったため、ひとまず前職の経験を活かせる別の会社で修業しながら、週に1度ワイズ・ラブに勤めることで考える時間を持ったそうです。

そこでの2年間で、経営者とは何かを学ぶと同時に、ワイズ・ラブが持っている開発力やサービスのすばらしさ、社員一人ひとりのモチベーションの高さに気づき、それらが承継されないのももったいないと思ったと由利香さん。継ぐ覚悟を決めて、ワイズ・ラブで本格的に働くようになり、現在は、自社開発の「物品位置管理IoTサービスXeye（クロスアイ）」のプロモーションを一手に担っています。

円滑な事業承継のコツについて、内橋社長は「自分の弱みを見せること」と語り、由利香さんは「後進に好かれておくこと（笑）」と話していました。小さい頃から由利香さんとのコミュニケーションを大切にしていたという内橋社長。期せずして、良好な事業承継のきっかけになったようです。

自社開発の IoTシステムを掲げて 事業の転換期に新風を

株式会社ワイズ・ラブ

堺市北区長曾根町3079-13 TEL.072-254-5109

代表者名/代表取締役 内橋 義人

設立/1995年設立

資本金/1,000万円

従業員数/13名

事業内容/IoTシステム自社製品開発・販売、
現場系業務システム受託開発、組込制御システム受託開発

<https://www.yslab.co.jp/>

工場や倉庫など、あらゆる事業所で発生している探すムダをなくす「物品位置管理IoTサービスXeye（クロスアイ）」や、見つけたものの位置を光って知らせる「光るタグ☆Vegaシリーズ」など、自社で開発したIoTサービスを課金制で提供するビジネスへと転換を図っている。

